



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口	6,617人
男子	3,200人
女子	3,417人
世帯数	2,653戸
(6年1月末現在)	

一月十五日に竜丘自治振興センターで令和五年度二十歳の集いが実施されました。七十四名の若人と小学校の恩師など多くの来賓を迎えて、記念式典・記念行事・記念祝賀会の三部構成で盛大にお祝いしました。



祝 令和5年度 飯田市 竜丘地区 二十歳の集い記念

今回の二十歳の集いはコロナによる自粛もなく、盛大に行うことができました。来賓には、小学校六年の恩師三名にも来ていただくことができました。

有志の実行委員三名の企画した記念行事では小学校の恩師のお話をいただき、先生方の近況や小学校時代の様子、先生の思いなどを語っていただきました。運動会の組体操の時に話された話を再度話していただき、昔を思い出しながら、うなずいて話を聞く姿が見られました。また、中学校

の恩師からのビデオメッセージでは多くの先生方から当時の様子や裏話なども語られ、顔を見合わせながら笑顔で話す姿も見られました。



二十歳の集いを終え、大人の仲間入りをしました。やっと二十歳を迎えたと思ったら、あと半年も経たずに二十歳を終えようとしています。正直、大人になったという自覚はまだありません。でも、自分らしく生きていくことが、これから大人として生きていく私の抱負です。

まずはこのような情勢のなか、通常の形で二十歳の集いが執り行えたことを、主事さんをはじめとする役員の方々、地域の方々にとっても感謝しています。また、保護者をはじめとする家族、親戚の方々にもとても感謝しています。ここまで私が成長し、二十歳を迎えることができたのはすべて

家族のおかげです。まだまだ学生という身分でたくさん迷惑をかけますが、ゆっくりと恩返しができるかな、と思っています。



実行委員の皆さんから

大人になると、子どもの時のように素直な気持ちを表に出さず、隠したり我慢したりしてしまいがちだと思います。もちろんその方がいい場合もありますが、自分を出していい時に相手を気にして隠し我慢することとはたくありません。なんて強気なことを言っていますが、とても不安で恐いです。まずはその気持ちを認めることから始めて、自分に嘘をつかず自分らしく生きていきたいと思えます。

私はかねてより、今回の二十歳の集いをとても楽しみにしていました。小学校から現在までと連絡を取り合うような仲の友達とは少教ということもあり、久しぶりに顔を合わせたり、人話や話す人、みんなの変化や近況などを聞ける機会はその何度もあることでは

第三部の記念祝賀会では料理とともに野菜路の手打ちの蕎麦やおいしんぼプラザのケーキなどの地元のおもてなしもある中、恩師の「酒は飲んでも飲まれるな」の教えのもと、お酒をいただきながら皆さんの思いが語られていました。

第一部記念式典では公民館長・自治会長・市議からはなむけの言葉や鈴岡太鼓の演奏が行われ、締め上げ花火も二十歳の門出を祝う素晴らしいイベントになりました。

私は今回、二十歳の集いの実行委員と言う貴重な体験をさせていただきました。はじめは「普段、人前に立つ事や誰かの中心になる事が苦手な自分が実行委員なんて」と思っていました。そんな苦手な事に挑戦できた事は自信に繋がると信じています。そして、そんな苦手な事に挑戦できたのは他二人の実行委員のおかげです。たけと君のおかげだと思っています。当日は、懐かしい友人たちと久しぶりに会い、話し、写真を撮り、とても楽しい一日になった事を嬉しく思います。

二十歳の集いを終え、改めて色んな人に支えられ、助けてくれたことに感謝します。また、この「感謝」の気持ちを大切にしながら、これから生活をしていきたいと思えます。



区長会も出演!! ニューイヤーコンサート

新春の幕開けを飾る「第二十八回竜丘ニューイヤーコンサート」が一月十四日(日)竜丘公民館大ホールで開催されました。

竜丘小学校ブラスバンドの華やかな響きを皮切りに十四組の個人、団体が日頃の練習の成果を披露しました。

四月には机を並べる竜丘



「ふるさと」の歌詞の「海を『川』に替えて歌い上げ住民参加の地域づくりをアピールしました。会場からも口ずさむ歌声が聞こえてきました。

緑ヶ丘中学校の吹奏楽部は練習を重ねた十二月のアンサンブルコンクールで入賞を果たした曲を伸びやかに演奏しました。

最後は、竜丘コーラ



「かほくわち」のメンバーが二十四日に竜丘公民館でライブを行いました。

スガ昭和十六年に作られた「竜丘国民学校校歌」と、その三十年後に作られた現在の「竜丘小学校校歌」を発表しました。

今回出演し、会場の誰もが聞き入ったヴォーカル&ギターの「Pippin」



十二月三日(日)竜丘小学校体育館及び竜丘公民館に於いて、冬季スポーツフェスティバルが開催されました。今年度は二種目、ポッチャと囲碁ボールの競技が男女混合・分館対抗で行われました。

ポッチャはカーリング・ペタンクを体育館で行う感

ポッチャ・囲碁ボール 幅広い世代が集まった 冬季スポーツフェスティバル

夫した戦略で楽しんでいました。ただ簡単そうに見えて意外とボールが狙った場所から離れた位置になってしまうことが見受けられました。攻め

は難しく、今回一回あったようにです。

ポッチャ・囲碁ボール共に激しく動き回るスポーツではなく、誰もが気楽に参加でき地区交流イベントと

じのルールで参加者の理解度も高く、自分達のチームが有利になるよう、相手チームが難しくなるよう工夫がなされています。

囲碁ボールはマレットゴルフの道具を利用し、主に五個並べることが目標となります。(五個並び・五目が最強)参加者は小学生から高齢の方まで幅広く、特に高齢者が参加しやすい競技ではないかと思われました。皆さん最初のうちは打感調整に苦しみました。すぐに慣れた戦略で楽しみ、狙い通りにボールを打つと両チームから歓声が上がっていました。五目は難しい、今回一回あったようにです。



して最適なのではないのでしょうか。

駄科文化祭

二月四日に「駄科地区文化祭」が行われました。朝から立春の雪降りでしたがオープニングの頃には止んで、南平獅子(写真)と下平獅子の祝舞の共演で開会しました。

保育園児から小学生、中学生や各団体、個人の作品の展示、リリーフレアの皆さんのフラダンス、鈴岡太鼓などの発表もありました。

駄科、時又文化祭開催される

スポーツ吹矢の体験コーナー、作って遊ぼう、射的やフリーマーケットもあり、キッチンカーには行列が出来ていました。久しぶりに地域の皆さんと触れ合い楽しいひとときを過ごしました。

時又文化祭

二月四日、時又ふれあいセンターにて「時又文化祭」が開催されました。園児の鬼の面、児童の書に始まり、白寿会、壮年団等各種団体の作品から個人の方々のものなど、百点を超える作品が展示されました。

見学を訪れた人達は、時又の人はもちろん、他地区の方々など約百二十人。自分の作品の前で立ち止まり眺める小学生と両親。生きたカメの展示で、カメとのふれ合いをする幼児。七十年前の時又の地図を熱心に見つめる方等、それぞれの楽しみ方で展示物を見学していました。



お正月のならわしを引き継ぐ

おやす花傘づくり(時又)

十二月十日九時より、大人・児童併せて約三十人が参加する中、白寿会指導の下でのおやす作りと、おん火の飾りのための花傘作りが行われました。

おやす作りに参加した人たちは、皆初めての体験と

あって、白寿会の方の実演をまねしつつも、なかなか思うように作ることができない様子でした。それでも終了時間ごろには五個のおやすを作った子どももいました。

花傘作りも、和傘に折紙や色付きの薄紙で作ったバラの花を貼り付け、おん火



に文字通り花を添えるきれいな花傘ができ上がりました。

おん火(長野原)

長野原のおん火は区民センター広場で一月七日の朝七時に点火されました。子どもからお年寄りまで多くの区民が集まり、持つてきた餅を竹の先に直接はさんで焼きました。

コロナのせいで地域の行事も中止になったり縮小したりする中で、再び昔のようになれることになったことはうれしい限りです。



ただ、この「焼肉文化」も、今後を考えていかなければ、将来性のある「地域の財産」にはならないだろう。

県内に二つしかない食肉処理施設の方の松本は、老朽化と次の土地利用計画により閉鎖が予定されている。この施設が無くなれば、県外での処理が余儀なくされ、流通や消費者への影響は必至である。関係者が尽力されているが、早期に展望が開けることを願う。

他方、SDGsの観点では、動物性食品を考えると、焼肉はカロリーが高く、体(健康)に良くないと考える人も少なくないだろうが、適量であれば健康に良いと思う。高齢者こそ肉を食べよう」との標語もあるが、肉は血管を丈夫にし、体力増強、貧血や風邪の予防、疲労回復やストレス緩和などにつながるのと、それでも、焼肉を敬遠する人や食過ぎもあるため、健康志向のレシピを考えていくことも必要ではないだろうか。

そして、焼肉店の継承も、「日本」の維持に警鐘を鳴らしている。観光資源としても地域ぐるみで考えたい。

吉川武彦飯伊食肉組合長(吉川ミート代表)は、「土用のうなぎ、クリスマス前のチキンのように、焼肉を楽しむ街になれば嬉しい」と語っていた。

正月行事(桐林)

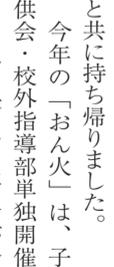
桐林公民館では、十一月二十五日に万寿山公園で、「おやす作りと焼き芋大会」

を開き、親子など約五十名が参加しました。

おやす作りは、桐寿会の会員から手解きを受け、参加者の多くが最初は覚束ない手つきではあったが、間もなくすると「楽しい」と、二つ三つと作っていました。

おやす作りの横では焼き芋を焼き、参加者はおやすと共に持ち帰りました。

今年の「おん火」は、子供会・校外指導部単独開催は中止を決め、三常会が合同、二常会が縮小、一常会が子供会と常会の共催で、一月七日に実施されました。



芋を焼き、参加者はおやすと共に持ち帰りました。

飯田市教育功労者表彰の皆さん

令和五年度飯田市教育功労者表彰が行われ、竜丘地区から五名の方が表彰されました。

林 厚さん(時又)

体育委員長・市スポーツ推進委員・企画委員・分館主事・公民館運営審議会委員・文化委員など二十一年間つとめられました。特に社会教育の振興に多大な功績を残されました。

塩沢 和至さん(桐林)

育成委員長・広報委員長をはじめ文化委員・企画委員を二十四年間つとめられました。広報と育成の兼任もされました。

木下 可楽さん(駄科)

広報委員・分館主事・育成委員を八年間つとめられました。育成委員と副分館長を兼任もされました。

羽場 弘光さん(桐林)

育成委員を九年間つとめられました。また、主任児童委員も兼任されました。

松野 由幸さん(時又)

広報委員として十年間つとめられました。その間、委員長・副委員長もつとめられました。



フレイル予防で健康長寿を目指しましょう!

竜丘地区担当保健師 座光寺 達

皆さま「フレイル」という言葉を聞いたことがあるでしょうか?

フレイル(虚弱)とは、「健康」と「要介護」の中間のことを言います。早めに気付けて、予防や治療を行えば健康な状態に戻ることが出来ます。

運動・口腔・栄養・社会参加の四つの柱を見直してみよう。